



【発行者】  
中国・四国中国帰国者支援・交流センター  
社会福祉法人 広島県社会福祉協議会  
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2  
TEL 082-250-0210  
FAX 082-254-2464  
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

## 中国・四国ブロック中国帰国者支援者研修会

7月26日(木)・27日(金)中国・四国ブロックの中国帰国者の支援者を対象に研修会を開催しました。1日目は2世の体験談を聞いた後、行政書士による在留管理制度の説明を受け、その後、日頃の活動で感じる問題について意見交換が行われました。帰国者への支援も支援者へのサポートも自治体によって非常に大きな差があるという現実が明らかになり、センターとしては自治体への働きかけ必要性を感じました。2日目の医療通訳養成講座では、現場で直面する課題が多く取りあげられ、熱心にメモを取る支援者の姿がみられました。今後もこのような研修会を継続したいと思います。



## 高知県 健康増進交流会・相談説明会

8月3日(金)高知県の帰国者を対象に在留管理制度説明会とスポーツ吹き矢体験会を開催しました。在留管理制度説明会では、質問が多く、関心の高さがうかがえました。スポーツ吹き矢体験会では、歩行が困難で杖を必要とする人も参加できました。また、屋内でするスポーツのため、天候や熱中症の心配をせずに楽しめました。大変好評だったので、今後も計画したいと思います。興味のある人はぜひ、参加してください。



## 広島市 異文化交流・盆踊り大会

8月12日(日)広島市立基町小学校グラウンドにて原爆慰霊祭と盆踊り大会が開催され、基町地域に住む帰国者が参加しました。毎年、浴衣の着付けでお世話になっている基町地区の女性会から気さくに声をかけていただき、うれしく思いました。会場では、浴衣を着て元気に走り回る子供を連れた2・3世の姿が多く見られ、センターの支援を離れたところでも、自然と地域に溶け込んでいる様子が印象的でした。



## 鳥取県 社会見学会・交流活動教室

9月22日(土・祝)鳥取県の帰国者を対象に社会見学会・交流活動教室を開催しました。岡山県倉敷市にある野崎家塩業歴史館では塩作り体験をしました。土鍋で海水を沸騰させている間にビデオで塩作りについて学びました。昔からの塩作りの様子を見ることで日本の歴史を垣間見ることができたと、帰国者たちは感動していました。30分ほど煮詰めてできあがった塩はみんなで分けて持ち帰りました。参加された2人の自立指導員と帰国者が普段から深く関わりあっておられる様子で参加者は談笑しながら和気藹々とした交流会となりました。



## 広島県廿日市市 避難所体験会

9月23日(日)広島県廿日市市で市民活動グループええじゃん主催の避難所体験会が開催され、広島県の帰国者が参加しました。昨年に続き2回目の参加なので、「去年も来てたよね～」と声をかけてくれる人もいました。段ボールで壁を作り、グループに分かれて避難場所を地図で確認しました。また、水を加えるだけでできる非常食を実際に作って試食するなど、さまざまな体験ができました。各グループに中国語通訳が配置されたおかげでスムーズに活動ができ、有意義な時間を過ごしました。



## 中四国地域の活動報告～山口県中国残留邦人等対策会議～

7月31日(火)山口県で中国残留邦人等対策会議が開催され、当センターの職員も参加しました。この会議は山口での帰国者支援の充実を図るために県庁が実施したもので、今回が第1回目でした。当日は関係市町の職員が、帰国者の持つ歴史的背景や支援制度の概要、近県での支援事例について学び、山口での支援体制構築に向けて情報交換をしました。山口県内は在住帰国者が数世帯という市町が多く、行政支援や行事などの実施が難しい現状があります。しかし、昨年からの支援相談員が県に設置されるなど支援体制が整ってきています。今後の山口県の取り組みに期待しています！

## 投稿 岡山県高島地区在住の帰国者からお手紙をいただきました。

6月1日(金)中国・四国中国帰国者支援・交流センターの職員がわざわざ岡山まで来てくれて、高島公民館で「新しい在留管理制度相談説明会」を開催してくれました。当日は岡山県各地域の帰国者が参加しました。研修会の中では講師が特に帰国者が注意すべきポイントに重点を置き、丁寧に解説してくれました。新しい在留管理制度の内容は4つの要点にまとめられ、特に申請手続きの方法や時期などは注意するよう繰り返されました。参加者からの疑問も丁寧に答えてくれました。

今回の説明会を通して、帰国者は新しい在留管理制度について明確な認識や理解を得ることができました。説明会は開催時期のタイミングが良く、説明はとてもわかりやすかったというのが参加者の一致した感想でした。このような活動を計画し、いつも帰国者の為になる事をしてくれた中国帰国者支援・交流センターの職員に感謝します。

お手紙ありがとうございます。  
帰国者のみなさんのお役に立ててとても嬉しいです。(センター職員一同)

## お願い

### ～センターからの送付物継続希望調査について～

センターでは住所を登録されている皆さまに機関誌「七色花」や交流会のお知らせなどをお送りしてまいりました。しかし、事業拡大に伴い経費節約の必要性も高まってきたことから、このたび、送付物が不要でない皆様への送付を中止させていただくこととなりました。センターからの各種送付物を引き続き希望される皆さまは、同封のハガキに必要事項を記入して、投函してください。切手を貼る必要はありません。なお、ハガキは「七色花」第30号～第32号の送付時、3回に同封しますが、1回お送りいただいた方は再度送っていただく必要はありません。ハガキ返信のない帰国者の皆さまには来年1月から各種送付を中止します。

## 10月・11月の予定

10月 3日	職場見学・交流会	〔広島県〕	11月1～2日	福岡定着促進センター出身者交流会	
10月 22日	健康増進交流会				〔中四国ブロック〕
		〔岡山県・広島県・香川県〕	11月10日	社会見学会	〔愛媛県〕
10月 27日	社会見学会	〔山口県〕	11月18日	異文化交流会	〔広島県〕

### 投稿募集

あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか？みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありませ～す、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

### 編集後記

日本では10月を神無月(かんなづき)と言います。これは10月に日本中の神様が、島根県の出雲大社に集まって会議を開き、他の地域には神様が居なくなってしまうことからそう呼ばれてきたのです。反対に神様の集まる出雲地域では神在月(かみありづき)と呼ばれてきました。私は仕事上、何度か島根県に行ったことがありますが、まだ出雲大社を訪ねたことがありません。機会があったら出雲大社を拝観したいと思っています。(金山)



【发行者】  
中国·四国中国归国者支援 交流中心  
社会福祉法人 广岛县社会福祉协议会  
〒732-0816 广岛市南区比治山本町 12-2  
TEL 082-250-0210  
FAX 082-254-2464  
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

### 中国·四国地区中国归国者支援研修会

7月26日(周四)·27日(周五)以中国·四国地区的中国归国者支援者为对象举办了研修会。第1天由归国者2代介绍了自己的体验发表,并由行政代书士对新在留管理制度进行了说明。之后就支援者在日常工作中遇到的问题进行了意见互换。对归国者的支援以及对支援者的辅佐随着地方自制体系的不同,出现的差别也很大,面对这一现状,中心感到今后仍有必要继续向行政机关进行归国者促进工作。第2天的医疗翻译讲座上,重点介绍了翻译工作中实际遇到的问题,与会者认真做笔录的情形,给人留下了深刻的印象。这样的研修会今后仍有必要继续举办下去。



### 高知县 促进健康交流会·咨询说明会



8月3日(周五)以高知县归国者为对象举办了在留管理制度说明会和吹箭体验会。在新在留管理制度说明会中,与会者提出了不少问题,说明了大家对这项制度的高度关注。吹箭体验会上,腿脚不便步行时离不开拐杖的归国者也积极参加了这项活动。整个活动都是在室内举办,所以既不受天气的影象,也不必顾虑中暑的问题。大家玩儿的非常地开心,整个活动深受好评。所以今后还会计划类似的活动。有兴趣者欢迎报名参加中心的下一次活动。

### 广岛市 异文化交流·盂兰盆舞大会

8月12日(周日)在广岛市立基町小学校操场举办了原爆追悼会和盂兰盆舞大会。居住在基町地区的归国者赶去参加了这次活动。每年,都会由基町地区女性会的成员为归国者穿和式浴衣,今年会的成员又爽快地答应下来,令人深表感激。会场上,遇到不少身穿浴衣的小孩,大多都是2代·3代的子女,让人感到虽然没有中心的支援,大家也已经自然的融入在日本社会中。



### 鸟取县 社会观摩会·交流活动教室



9月22日(周六·节假日)以鸟取县归国者为对象举办了社会观摩·交流活动教室。这次在冈山县仓敷市的野崎家盐业历史馆体验了制盐。用砂锅将海水煮沸之前,一起观看学习了如何制盐的录像。通过观看日本从古至今制盐的方法,让大家借此机会得以一窥日本的历史,令各位归国者感慨万分。煮沸30分钟后渐渐呈现了盐的结晶,大家均分后做为纪念带回了家。专程赶来参加这次活动的两位自立指导员平时与归国者接触较多,所以可以看到大家交流的十分的融洽。

### 广岛县廿日市市 避难所体验会

9月23日(周日)中心带着广岛县的归国者参加了由广岛县廿日市市的市民活动团体ええじゃん主办的避难所体验会。接着去年这已经是第2次参加这样的活动了,曾在去年见过面的与会者纷纷走过来打招呼「去年也来过吧」。在这里大家一起动手组装了硬纸板隔间,并分成小组参照地图确认了所在地区的避难场所。之后还试尝了加水就能泡开的紧急备用食品,借此机会进行了各种各样的体验。主办者特意在各个小组安排了日语翻译,令整个活动进行的非常地顺利,可以说这是一次非常有意义的活动。



### 中四国地区活动汇报 ~山口县中国残留邦人等对策会议~

7月31日(周二),由山口县政府举办了中国残留邦人等对策会议。中心的工作人员也去参加了这次会议。会议的主旨是如何充实对山口县归国者支援工作。这还是县里第一次举办这样的会议。当天,相关市町机关的职员共同学习了归国者的历史背景以及支援政策的概要。通过参考邻县的支援工作事例,加强了工作人员对山口县支援体制构筑的积极性。山口县内不少的市町仅有数户归国者居住,所以行政支援以及举办活动等方面都有不少的难度。但是自从去年设置支援相谈员开始,支援体制有了很大的改善。为此对今后山口县的工作展开予以着极大的期待!

### 投稿 下面是来自冈山县高岛地区归国者的投稿

6月1日(周五)中国·四国中国归国者支援·交流中心的工作人员,专程来到冈山市,在高岛公民馆组织了《关于新在留管理制度咨询说明会》。冈山各地区的归国者纷纷赶来参加了这次会议。会上,市工作人员着重的宣讲了与归国者有切身利益的有关章节,对每项条款进行了反复的解释。并明确提出了新在留管理制度中的四大要点,提醒归国者务必留意有关办理手续的方式和时间等注意事项。同时对大家提出的疑难问题给予了耐心细致的解答。

通过这次说明会,使归国者对新在留管理制度有了明确的认识和理解,与会归国者一致认为这次说明会开的及时,讲的透彻。在此衷心的感谢交流中心的工作人员组织了这样的活动,切实为归国者办了好事实事。

非常感谢您的投稿!  
讲座的内容对大家能有所帮助,  
令人欣慰。(中心全体职员)

### 恳请大家协助

#### ~关于希望继续收取中心邮件的意向调查~

中心对凡是进行了住所登录的归国者定期邮送着「七色花」以及各种交流会的通知。但是伴随工作范畴的扩大,节省经费支出的必要性也随之提高。借此机会,根据本人的希望来决定今后是否继续发送有关中心的各种邮件。为此请各位务必配合本中心的这次调查。今后仍然继续希望收取来自中心的各种邮件的人,请您务必填写随信一同寄去的明信片上的必要事项,再寄回给中心。寄回中心用的明信片上不用贴邮票。本中心计划伴随第30号~第32号「七色花」的发送,计3次向大家邮寄意向调查明信片。已经向中心返回明信片的人不必再度邮寄。在此期间没有向中心返回明信片者从明年1月起将不再向您邮寄中心的各种邮件。

### 10月·11月预定

10月3日 企业参观学习·交流会(广岛县)	11月1~2日 福冈定着促进中心结业者交流会
10月22日 促进健康交流会	(中四国地区)
(冈山县·广岛县·香川县)	11月10日 社会观摩会 (爱媛县)
10月27日 社会观摩会 (山口县)	11月18日 异文化交流会 (广岛县)

#### 征集投稿

您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?在此向大家征集稿件,内容不限,可以是日常生活琐事,也可以是追忆往昔,或者是介绍专项所长。原稿的字数限400字以内,投稿可直接送到中心,通过邮寄、传真亦可。

期盼大家积极踊跃的投稿!

#### 编辑后记

在日本,10月又被称为神无月(かんなづき)。据说每年到了10月,日本全国各地的神仙就会聚集在岛根县的出云大社商议一年的事宜,为此出云以外地区的神仙都暂时不在家,因此10月有了上述称呼。相反,这时出云地区众神聚集,所以在这个地区10月反而被称为神在月(かみありづき)。出于工作事由,曾经数次到访岛根县,但是还没有去过出云大社,希望今后能够有机会拜访出云大社。(金山)